

令和5年度 愛媛県立野村高等学校 第一学期始業式式辞

皆さん、おはようございます。暖かな春の陽気に包まれて、生命が躍動する新しい季節が始まりました。本日から、令和5年度の第一学期です。午後の入学式でも、先日WBCで活躍した大谷選手のことを話すつもりですが、始業式でも私が大谷選手の生き方から学んだことを3つお話ししたいと思います。

一つ目は、「視野を広く持つ」ということです。大谷選手は、日本の高校野球・プロ野球を経て、今はアメリカの大リーグで活躍しています。今の大谷選手の目にはどんな世界が映し出されているのでしょうか。実は、皆さんが思っているより、世の中は広く、人生は長いものです。

「視野を広く持つ」とは、自分の意見に凝り固まることなく、いろいろな意見を学び、取り入れるということです。視野が狭くなると、自分の考えと異なる人たちを否定したり、マイナスの感情に惑わされて判断を誤ったりすることさえあります。もし、仮に視野が180度あったとしても、本来は360度の半分が見えたに過ぎないのです。人間は、せいぜい30度くらいの狭い視野しか持ち合わせていません。視野はどんなに広げても広げすぎることはないのです。皆さんには、視野を広げることで自分の可能性を伸ばすとともに、仲間の良いところもたくさん見つけてほしいと思っています。

二つ目は、「心の鏡を持つ」ということです。私たちは1日に何回鏡を見るのでしょうか。写真を撮る前に鏡を見て初めて、寝ぐせや曲がったネクタイに気付いて直すなど、身なりは鏡を見ることで修正できます。しかし、残念ながら、心の歪み（ゆがみ）を映す鏡はこの世にはありません。だから、人は自分の行動の誤りを自覚しにくいのです。心の鏡はないのだから無理もないのですが、実は素直な心や謙虚な心さえあれば、心の歪み(ゆがみ)も修正は可能です。その点、大谷選手は、コーチの意見に素直に耳を傾け、様々なことを素早く修正していると聞きます。私は、皆さんには家族や友だちや先生の声に耳を傾け、自分の考えや行動を素直に修正できる人になってほしいと考えています。

三つめは、「切り拓く」ということです。動物園の動物は、エサを十分与えられ、また他の動物から危害を加えられる恐れもありません。本来ならば身の危険を感じながら、果てしない原野を駆け回っていたはずの彼らにとって、動物園の生活は幸せなののでしょうか。私は、目標に向かって努力する過程でさまざまな困難に直面したとしても、自分が選んだ道を信じ、全力でそれを切り拓いていくところに、一番充実した今があると考えています。

それまで誰もなしえなかった「二刀流を実践している大谷選手の不安と困難は想像できないくらいのものだと私は思っています。でも、大谷選手はそれを監督やコーチと話し合いながら克服し、切り拓いて行きました。もし、皆さんが一人で困難を解決できなければ、仲間と力を合わせて行くことでそれを乗り越え、新しい世界を切り拓くことができるのです。

それでは最後に、新年度を迎え少し大人になった皆さんに、私から三つの心を贈りたいと思います。一つ目は「学び合う心」です。友人とともに学び合って新しい時代にふさわしい学力を身につけましょう。二つ目は「支え合う心」です。互いを認め合い尊重することで、学校中に笑顔の花を咲かせましょう。三つ目は「高めあう心」です。昨日よりは今日、今日よりは明日と、まず自分自身が成長し、仲間とともに夢を語り合い、互いに励まし合いながら一生懸命努力していきましょう。

新学期です。皆さんがいろいろなことにチャレンジして、楽しく充実した時間を過ごすことを期待して式辞とします。